

ごあいさつ

市民の皆様にかかれましては、お健やかに平成二十四年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、公私共、色々とお世話になりました。心より厚くお礼申し上げます。

昨年は事故処理にはまだまだ先の見えない福島原発事故を含む東日本大震災がありました。すべての人の心が痛む中、一日も早い事故の沈静化と町の復興を願うものであります。

さて、国内の経済環境は円高やデフレが恒常化し、一層の厳しい状況が続いており、財政状況の悪化や社会保障と税の問題などがクローズアップされている中、本市においても税収の大幅な落ち込みが懸念されるなど財政状況の深刻さが日に日に鮮明になってきています。こうした中、湖誠会は、施策の優先順位をしっかりと見据えながら、市議会の最大会派として目片市長を支える与党として市民の皆様の声に「誠心誠意」向き合い、市民サービス向上のために積極的に政策を提案してまいります。本年も湖誠会ならびに十二名の所属議員へのご支援、ご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

幹事長 竹内 照夫



平成23年11月 定例議会

竹内 照夫幹事長、目片市政を問う

Q

3期目を目指される目片市長の政治姿勢について、2期8年を振り返っての評価と、マニフェストの進捗状況を伺う。

A

目片市長 答弁

市長就任以来、「決断と実行」「継続と改革」を政治理念に、「行動計画」「大津維新」を策定し先人が築き上げた成果を継承しつつ思いきった改革を進めた。2期目では「未来を展望し、いかに実行するか」全身全霊職責を全うしてきた。マニフェストの進捗状況は、5項目からなる総数120の事業を掲げ、87・1%の達成率となり、百十一事業が達成できる見込みである。引き続き取り組んでいる7事業のほか、目途が立たない事業は2事業の状況である。今後も引き続き全力を尽くしたい。

Q

次世代を育む子育て支援策のさらなる充実について、新たに取組まれる子育て支援策について、目片市長 答弁

A

目片市長 答弁

保育所の待機児童解消は、660人の入所定員増に対し、昨年4月600人の大幅増員を実施した。本年4月に100人の定員増を行なう。家庭的保育事業も10箇所から14箇所を増やし待機児童解消に向け取り組む。幼稚園と保育園との施設の一体的利用や余裕教室のある幼稚園の活用、公立幼稚園での在園児預かり保育の拡大に向けた検討をはじめ、市全体で子育て支援を推進する。

Q

大津市のまちづくりの根幹ともいうべき、大型プロジェクトの推進は、次期任期中何に重点を置き、又どれくらいの所要経費を見込んでいるか見通しについて伺う。

A

目片市長 答弁

次期4年間の重点的整備は、堅田駅西口や大津駅西地区土地区画整理事業で総額64億円、JR膳所駅橋上化は総額38億円、和邇駅前広場整備事業、総額5億円、又瀬田駅前広場整備事業は地元と調整協議中である。企業局舎を隣接国有地に建設を予定している。南部クリーンセンター、環境美化センター等の焼却施設整備は、総額53億円を見込んでおり、大型プロジェクトにかかる4年間の経費は現時点で160億円を見込んでいる。

Q

教育環境の整備について、学校施設のエアコン整備や中学校給食の検討など積極的な取り組みについて推進されているが、具体的な手法やスケジュールについて伺う。

A

目片市長 答弁

学校施設のエアコン整備は、教室の暑さ対策として、ガス需要開発を前提に企業局会計の利益の一部活用を検討している。中学校、続いて小学校、幼稚園へと整備する。中学校給食は、今日的な社会状況から中学校給食の検討を考えており調査を行なっていく。

市議会TOPICS

1 大津市議会と龍谷大学とのパートナーシップ協定を締結

平成23年11月28日政策立案機能の向上に資する、全国でも先進的な取り組みとして協定を締結した。



2 平成23年11月市議会定例会において新たに制定された主な条例

- 大津市男女共同参画推進条例
- 大津市暴力団排除条例
- 大津市職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例
- 大津市債券の管理に関する条例

3 今議会で採択された主な意見書

- 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書
- 予防接種法に基づく定期接種の拡大を求める意見書
- 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉に関する意見書

大津市議会 湖誠会

検索

湖誠会は本年も全力で取り組みます!



JR膳所駅の整備。橋上駅化は平成27年度中の完成を目指して来年度中に着工し、その後、駅前広場の整備に着手します。

たけうち てるお
竹内 照夫



堅田駅西口土地区画整理事業の力強い推進にこれからも全力傾注します。

つだ しんぞう
津田 新三



獣害対策防護柵設置が進んでいます！延長距離最大級の北小松にて。

きたむら しょうじ
北村 正二



市営団地と市民センターのトイレ和式から洋式へ。観光看板の設置。

たけうち もとじ
竹内 基二



赤字続きの競輪を廃止して年間約8億円の出血止める。跡地の活用市民目線で。

たけだ へいご
武田 平吾



南郷・平津・石山寺までに到る国道422号歩道のバリアフリー化の推進。

あおやま さんしろう
青山 三四郎



子どもと高齢者が安心して暮らせる大津の推進に全力で取り組みます。

なかの じろう
中野 治郎



学校教育施設の整備・充実を図りたい。

はった けんじ
八田 憲児



1小学校区制にもかかわらず、通学区域の変更により生じている、学区制問題に取り組む。

こんどう まさひろ
近藤 眞弘



大津駅西地区の再開発事業を取り入れた、まちづくりに取り組みます。

ばん たか あき
伴 孝 昭



近年の異常気象に鑑み、治水対策が最優先である。大戸川ダム建設の早期促進に取り組む。

よこた よしお
横田 好雄



晴嵐学区の保育園、幼稚園に通う5歳児作品展を支援しています。

すみ たつ お
鷺見 達夫

11月定例会一般質問

Q 近藤 眞弘議員

現在実施している、省エネの取り組み効果を全庁だけでなく、各部署・各所属ごとに示すことで、職員の関心も高まるのではないかと。また省エネ以外の無駄な経費削減策について問う。

A エネルギーの使用量削減は、一般的に経費の削減につながるから、結果の取りまとめにおいても、参考値として主なエネルギーの使用にともなう経費を示していきたい。また定期的な業務経費の見直しと、最小の経費で最大の効果が得られるよう、十分に財政面・事務改善も含め職員全員に周知徹底していきます。

Q 伴 孝昭議員

長い歴史と伝統をもつ大津三大祭を、観光都市大津の構築と地域の活性化のためにどのように取り入れていくか問う。

A 集客性にすぐれ、本市のイメージアップに寄与する大津三大祭に対して、今以上に活用しPRしながら地域の誇りとして後世に保存継承されるよう可能な限り支援していきたいと思えます。

Q 横田 好雄議員

平成24年度予算編成方針の視点と方向性について問う。

A 平成24年度は、「大津市総合計画第2期実行計画」の最終年次であることから、その総仕上げとして、計画達成に向けた重点事業の着実な推進と健全財政の堅持を予算編成方針の両輪としたものです。また、「(新)行政改革プラン」の数値目標等の達成に着実に取り組むとともに、「中期財政計画」で示した取組項目と目標額21億円を確実に達成してまいります。さらに、さまざまな角度から知恵を絞りながら、あらゆる改革努力のもとに必要な財源確保を図り、決断と実行による活力ある地域社会の実現と市民福祉の向上を目指して必要な施策への予算の重点化に努めてまいります。

